

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年06月09日

計画の名称	市街地環境の整備改善（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	蕨市												
計画の目標	密集市街地の整備改善にあたっては、既存の都市インフラやコミュニティなど、地域の特性を活かしつつ、老朽住宅の建替えと公共施設の整備を促進し、防災性の向上やにぎわいの創出、良好な商業と住環境の改善を図ることで、魅力あふれるまちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	347	A	314	B	0	C	33	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	9.51	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30年末)
1	整備計画に位置付けた地区公共施設整備の進捗率（用地取得面積の割合）を82.2%に向上 地区公共施設整備の進捗率 地区公共施設の用地取得済面積 / 地区公共施設の全体面積	75%	%	82%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	中央第一地区住宅市街地 総合整備事業(密集住宅 市街地整備型)	密集市街地の整備・6.6ha	蕨市						286		-	
	A16-002	住宅	一般	蕨市	間接	民間	-	-	中央第一地区住宅市街地 総合整備事業(密集住宅 市街地整備型)	密集市街地の整備・6.6ha	蕨市						28		-	
											小計						314			
												合計						314		

C 効果促進事業

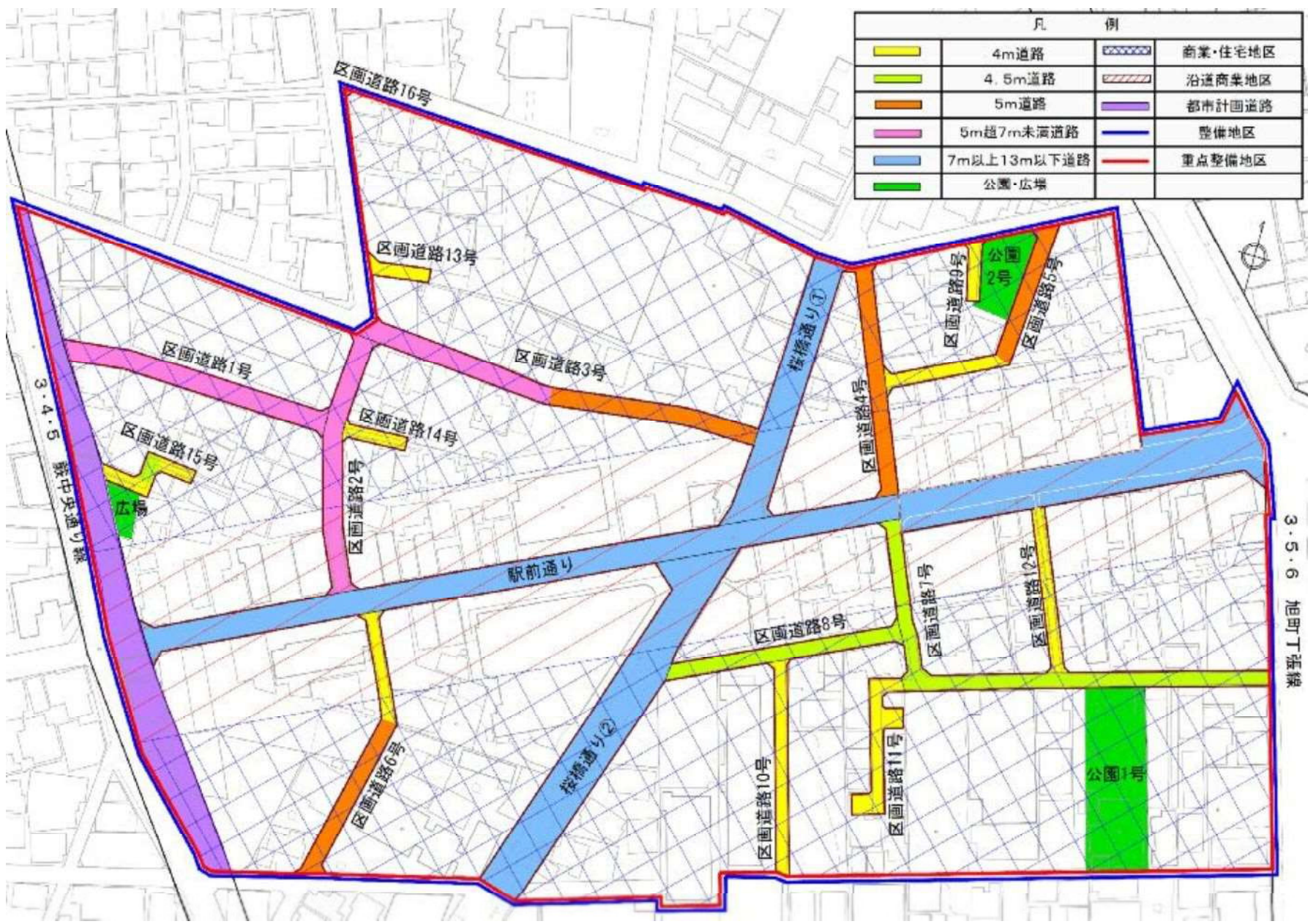
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	蕨市	間接	民間	-	-	工作物除却事業	地区公共施設に抵触する工作物の除却	蕨市						1		-	
		地域住民が行う工作物除却事業に対して助成することにより、地区公共施設に係る用地買収を促進させ、魅力あるまちづくりを早期に実現する。																		
	C16-002	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	接道不良宅地買収事業	接道不良宅地の買収	蕨市						24		-	
		接道不良宅地を買収し、老朽建築物の除却を行うことにより、住環境の改善を図る。																		
	C16-003	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	地区公共施設整備ワークショップ開催等事業	ワークショップの開催等	蕨市						8		-	
		地区公共施設の整備にあたり、ワークショップの開催等により、魅力あるまちづくりを実現する。																		
											小計						33			
											合計						33			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	4	24	21	1	13
計画別流用増 減額 (b)	0	7	24	0	0
交付額 (c=a+b)	4	31	45	1	13
前年度からの繰越額 (d)	0	0	1	0	0
支払済額 (e)	4	30	46	1	13
翌年度繰越額 (f)	0	1	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	1 市街地環境の整備改善（防災・安全）	交付対象	蔵市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）		



凡 例			
	4m道路		商業・住宅地区
	4.5m道路		沿道商業地区
	5m道路		都市計画道路
	5m超7m未満道路		整備地区
	7m以上13m以下道路		重点整備地区
	公園・広場		

事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地環境の整備改善（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 「コンパクトシティ圏」将来ビジョンとの整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（安全面、衛生面等の居住環境の改善）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（住宅・建築物の安全・安心確保）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（良好な住環境の整備）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（地域の特色ある街並みの整備）	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じたきめ細やかな事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○